

システム開発における AI活用による生産性革命講座 AI駆動開発研修 第一期



AIによる生産性革命のための基礎スキルは **LMS** で習得

PCだけでなく、タブレット・スマホ端末でも快適な受講が可能です。

AIによる 生産性革命の 実践スキル



AIによる生産性革命の実践スキルは **ハンズオン研修** で習得

株式会社FISソリューションズ

システム開発におけるAI活用による生産性革命講座

解決すべき課題

今日のシステム開発現場は、深刻な人手不足と厳しい短納期への対応に追われています。従来のツールや手作業に依存した工程では、品質の低下、納期遅延、コスト増大が常態化し、プロジェクトの失敗リスクを著しく高めています。さらに、開発エンジニアのモチベーション低下や離職率の上昇といった問題も引き起こしています。

多くの企業がAIによる解決の可能性に気づきながらも、「AI導入の方法論や実践ノウハウが不足している」「自社で研究調査する体力がない」といった壁に直面しています。実際に「AIツールを試したが定着せず効果が見えない」「導入の費用対効果が不透明」といった声も少なくありません。単にツールの名前を知っているだけでは、これらの課題は解決しません。設計、実装、テスト、各フェーズでAIを『使いこなす』具体的なノウハウと再現性のある手法こそが、投資効果を最大化し、現場の生産性・品質を根本から向上させる鍵となります。チーム全体の開発生産性向上の悩みを解決します。

研修内容

本研修では、最先端のAIモデルであるChatGPT (GPT-4) とGoogle Gemini、そして開発現場の必需品であるVisual Studio Codeを最大限に活用し、システム開発の全工程——要件定義、設計、実装、テスト——で即効性のあるAI支援手法を体系的に学習します。

特に、VS Code向け強力プラグイン「Claude Code」の導入から実践的な活用法までを徹底解説。講義とハンズオン演習を通じて、単なる知識ではなく、現場で手を動かして使えるプロンプト設計、コード生成、テスト自動化、デバッグといったスキルを実践的に習得できます。動画による事前研修と対面での実践研修で、現場に持ち帰り、すぐに活用できる再現性のあるワークフローを提供します。

本研修で得られるスキル

- **開発生産性の劇的な向上**
設計・実装・テストの各工程でAIを効果的に活用し、作業時間を大幅に短縮。
- **品質向上と手戻り削減:**
AIによる要件の曖昧性検出、テスト自動生成、エラー解析で、バグを早期に発見・修正。
- **プロジェクト失敗リスクの低減**
効率化と品質向上により、納期遅延やコスト超過のリスクを抑制。
- **エンジニアの創造性向上**
定型作業をAIに任せ、より高度で創造的な業務に集中できる環境を構築。
- **AI活用の具体的なノウハウ**
「ツールを知っている」から「ツールを使いこなす」レベルへ。明日から使える実践スキル。
- **再現性のあるワークフロー**
研修で学んだ手法を、自社チームで横展開するための具体的な手順を習得。

日程

LMS1か月(4時間)
ハンズオン研修1日 (7時間)

費用

税別77,000円【税込84,700円】
* 銀行振り込み

方法

当社指定のLMS (learning management system)
システムでの動画視聴
動画視聴後に当社指定の対面研修を受講

対象

システム開発に従事するエンジニアの方
チームの技術リーダー (テックリード) の方
開発チームの技術マネージャーの方

LMS（動画）研修

session 1	<ul style="list-style-type: none">ChatGPT、Google Geminiなど主要AIモデルの特徴と開発工程における適用領域従来の開発手法とAI支援型開発の違い適切なプロンプト設計や対話スキルの基礎	1時間
session 2	<ul style="list-style-type: none">長文議事録の要約・構造化音声認識、文字起こし結果の活用	1時間
session 3	<ul style="list-style-type: none">Claude Code とはClaude Code でのモード別機能の解説	1時間
session 4	<ul style="list-style-type: none">AIによるエラー解析、デバッグ手法の概要機能仕様書からのテスト条件設計方法テスト・デバッグに役立つAIに教えるべきナレッジRoo Code でのテストコードの自動設計手法	1時間

ハンズオン（対面）研修

session 1	導入 ：本研修の目標と全体像を共有します。ChatGPT、Google Geminiなど主要AIモデルの特徴と開発工程における適用領域を解説。従来の開発手法とAI支援型開発の違いを具体例で比較し、AI活用の基本となる適切なプロンプト設計や対話スキルの基礎を習得します。この導入により、AI活用の全体像を理解し、以降の演習効果を最大化します。	30分
session 2	要件定義・設計フェーズ ：要件定義と基本設計におけるAI活用手法を学びます。講義では、長文議事録の要約・構造化、Google Gemini AIによる音声認識・文字起こしからの要件抽出プロセス、UI/図面からの機能仕様書自動生成事例を解説。顧客ヒアリングデータからの非構造化情報抽出、ドラフト要件定義書作成手順を紹介します。ハンズオンでは、ユースケースからの要件定義書生成、曖昧性検出、優先順位付け、ロードマップ化を実践。設計段階の見落としリスクを低減し、高品質な要件定義を短時間で作成するスキルを獲得します。	2.5時間
session 3	実装フェーズ ：実装フェーズに特化し、Roo Codeプラグインを活用したAI支援技術を習得。講義でRoo Codeの導入・認証を実演します。プロンプト設計原則、モード別機能（Code生成、エラー解析、テスト自動生成、デバッグ）の使い分けを具体例で紹介。ハンズオンでは、自然言語からの関数・クラス生成、既存コードのリファクタリング提案演習を実施。実装速度と品質向上を即座に体感し、日常業務でのAI活用基盤を構築します。	2.5時間
session 4	テスト・デバッグフェーズ ：テスト設計からデバッグまで、品質保証フェーズにおけるAI活用技術を学習します。講義で、機能仕様書/ユースケースからのテスト条件設計、カバレッジ最適化戦略を解説。AIによるエラー解析・原因特定について紹介します。ハンズオンでは、AIによるテストコードの自動生成、デバッグ手法を実践。Roo CodeのTest/Debugモードを組み合わせ、現場で即活用できる品質担保の自動化スキルを体得します。	1.5時間

講師プロフィール

川西 智也

AI活用開発の最前線を走り、
その知見を現場に届ける
実践者

本研修の講師は、AIを活用したシステム開発・コンサルティングのプロフェッショナルであり、自らも現場で最先端AIツールを日々深く使いこなす川西 智也が務めます。京都大学大学院情報学研究所を修了し、情報技術の深い学術的素養を基礎にキャリアをスタート。大手電力会社に入社したのち、自ら企画・開発・運用を手掛けた業務効率化システムで入社2年目で異例の部長賞を受賞するなど、実力を発揮してきました。その後、急成長スタートアップ企業ENECHANGEにてチーフエンジニアに就任。Ruby on RailsやAWSを用いて開発・運用を牽引しつつ、サイト全体のアーキテクチャデザイン、技術戦略立案、そしてエンジニア採用を統括。2020年の同社上場を技術面から支えました。上場後、さらなる挑戦として独立。現在は合同会社ロイヤルビース代表として、AIを使ったシステム開発、企業のAI導入・活用コンサルティング、そして本研修のような実践的なトレーニング提供を主な事業としています。

特筆すべきは、「現場主義」に基づいたAI活用への深いコミットメントです。 Devin、Zed AI、そして本研修で活用するRoo Codeをはじめとする最先端のAI開発ツールを、自身のシステム開発業務でまさに「手足のように」日々駆使しています。そこで得られる、教科書には載らない生きた技術・ノウハウ、そしてAIを開発工程に「定着させる」ための実践的な知見を、コンサルティングや研修を通じて惜しみなく共有しています。システム開発の全工程を知り尽くした豊富な経験と、AI活用開発の最前線で日々研鑽を積み現役実践者だからこそ伝えられる、本質的かつ即効性のあるAI活用術。本研修では、川西智也の持つ「AIを現場で使い倒す」ための独自の視点とノウハウを直接学ぶことができます。高度情報処理技術者試験に多数合格（応用情報技術者試験、システムアーキテクト、データベーススペシャリスト、ネットワークスペシャリスト、ITストラテジスト、プロジェクトマネージャ）、中小企業診断士資格も保有しており、経営と技術の両面からの深い知識に基づき、AI活用による開発生産性向上への確かな道筋を示します。